生物情報解析システムの紹介

2018/02/23

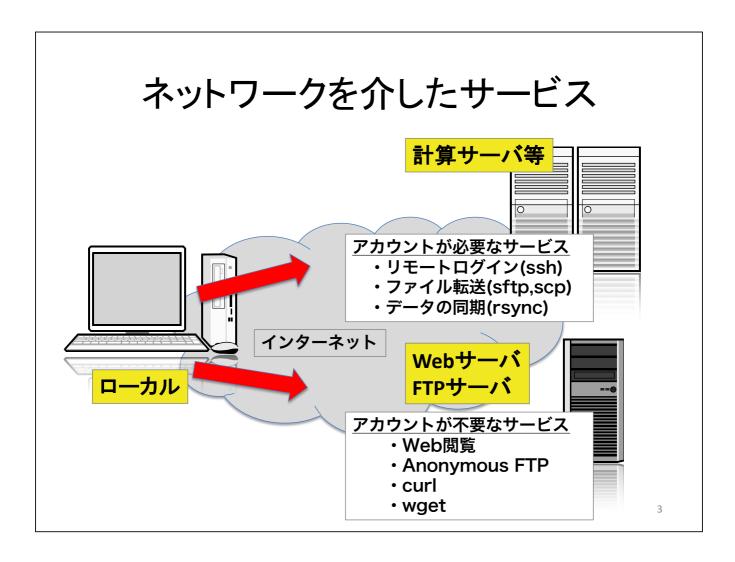
作業場所

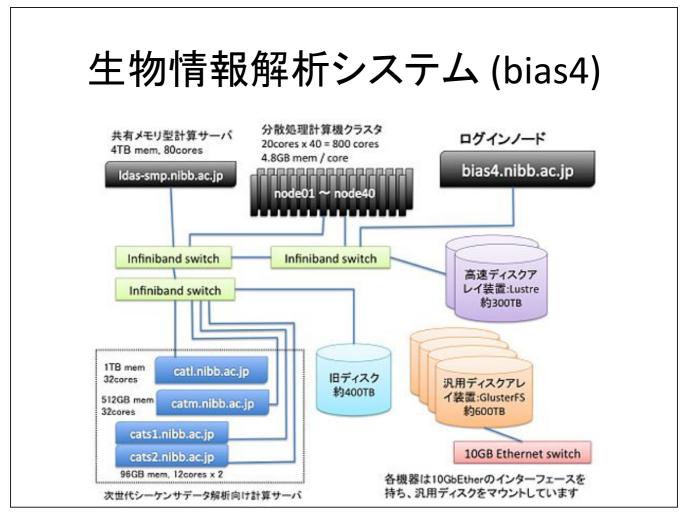
• 以降の作業は、以下のディレクトリで行います。

~/data/7_bias/

cd コマンドを用いてディレクトリを移動し、

pwd コマンドを利用して、カレントディレクトリが 上記になっていることを確認してください。





分子生物学アプリケーション

- ・ほとんどのアプリケーションは、/bio/bin 内にあり、 どのマシンからでも同様に使用可能です。
- •/bio/bin への実行パスもログイン時に通っています。
- 必要なアプリケーションが有りましたらご相談下さい。随時インストールします。
- ■詳細は生物情報解析システムwiki をご覧ください。 http://www.nibb.ac.jp/cproom/wiki/index.php

bias4へのログイン

bias4へのログインには、sshというコマンドを使用します。

コマンド:

ssh ユーザ名@ホスト名 または ssh -l ユーザ名 ホスト名

ネットワーク経由で別の計算機にログインします。

\$ ssh unixr@bias4.nibb.ac.jp unixr@bias4.nibb.ac.jp's password: Last login: xxx Aug xx xx:xx:xx 2016 from xxxxx.nibb.ac.jp [unixr@bias4-login ~]\$

bias4からのログアウト

bias4からログアウトするには、exit コマンドを使用します。

コマンド:

exit

ネットワーク経由でログインしていた計算機から ログアウトします。

[unixr@bias4-login ~]\$ exit logout

Connection to bias4.nibb.ac.jp closed. ←接続が解除されたメッセージが出る。 \$

実習(ssh)

sshコマンドを使用して、bias4にログインを行ってください。 コマンドは以下のようになります。

ssh username@bias4.nibb.ac.jp

ログイン後はbias4上のホームディレクトリに移動しています。 どのようなファイルがあるかを確認してください。

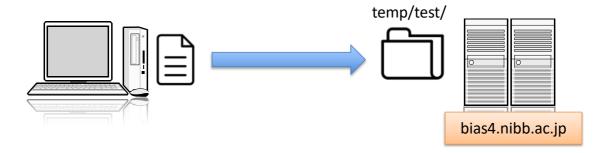
その後、ログアウトを行ってください。

exit

リモートファイルコピー (scp)

scp コピー元 コピー先

ネットワーク経由でファイルのやりとりを行います。 コピー元・先のいずれかにネットワーク上の場所を指定します。



コピー先の指定: user@host:<where_to_copy_path>

\$ scp copyfile username@bias4.nibb.ac.jp:temp/test/

リモートファイルコピー (scp)

先ほどの例ではローカルからネットワーク上にファイルをコピー したが、逆も可能である。



コピー先の指定: user@host:<where_to_copy_path>

\$ scp username@bias4.nibb.ac.jp:temp/test/copyfile .

実習(scp)

scpコマンドを使用して、ローカルにあるファイルをbias4にコピーしてください。コマンドは以下のようになります。

scp filename username@bias4.nibb.ac.jp:

コピーしたファイルは、bias4のカレント・ディレクトリにあります。sshコマンドを用いてbias4にログインし、lsコマンドを用いて、先程コピーしたファイルがあることを確認してください。

ssh username@bias4.nibb.ac.jp

実習(scp)

今、ローカルからコピーしたファイルがbias4上にあります。 このファイルに変更を加えます。ファイル名を mv コマンド で変更してください。

mv filename (yourname).txt

一旦、exit コマンドを使用して、ローカルに戻って下さい。

その後、scpを用いて、bias4側からローカルへ先程名前を変更したファイルをコピーしましょう。

scp username@bias4.nibb.ac.jp:(yourname).txt .